



告 示

第四十二回
通常総代会のお知らせ

日時 六月十六日(木)

場所 八王子労政会館

(京王八王子駅から徒歩五分)

*通常総代会は、定款の定めにより、年に一回開催される組合員の最高決議会議です。
総代以外の方もオブザーバーとして参加ができます。
総代に立候補される方は、4月22日までに生協事務局まで届け出てください。

TEL 042(644)1811

- 春の集い報告～T P P 講座
- 商品モニター・保育ママ募集
- 商品委員会 ヤマキ醸造
- 生協サポート お薬のお話
- 浪江と多摩をつなぐ

和太鼓コンサート

2016 春の集い 報告

～ 初心者のためのTPP講座 ～

2月下旬から3月にかけて、4会場で開催された「春の集い」。講演「初心者のためのTPP講座」や、新商品をはじめとする試食会が関心呼び、計72名の参加がありました。



3/8 八王子会場

事業の中間報告

はじめに、昨年の総代会で決議された計画の進捗状況について、山本専務理事より報告がありました。

12月末現在、供給高は前年比101.4%で推移。仲間づくりは112.1%の813人を数えました。「プレミアムセット」による組合員紹介が好調で、組合員へ感謝が伝えられました。

また、2年前から行っている「食がたり・食べつたえ」の取り組みを紹介。カタログにて生産者の商品に対する思いやこだわりなどを発信したこと、埼玉の生産者から譲っていたいただいた大豆を、豆腐の豆匠たかちさんと共に育てたことなどを報告しました。収穫した大豆を使った寄せ豆腐は4月2回に供給されます。

TPPで何が起きるのか

続いて、「初心者のためのTPP講座」と題し、日本消費者連盟より講師を迎え、「農」と「食」の側面から見たTPPをお話いただきました。橋本・調布会場での講演は大野和興氏。日本農業新聞の記者として農業を見つめ、現場からの情報を発信してこられた。

した。講演ではTPP合意によって心配される農業への影響や失われる自然と人とのつながりをお話くださいました。参加者からは「日本の農業の現状・危うさが分かりました」、「地球規模での物の見方を教えられました」などの感想が寄せられました。

立川・八王子会場では、昨年9月のイベントでも好評だった天笠啓祐氏。市民バイオテクノロジー情報室代表を務め、消費者の立場に立って日本の食卓の安全を訴えてきたジャーナリスト。ユーモアを交えつつも毅然と「NO」という姿が印象的です。参加者からは「TPPは私たち消費者やまじめな生産者の方には厳しい話なのですね」、「不安が恐怖に変わりました」と感想をいただきました。

自然派自慢の18品がズラリ



自然派自慢の食材を囲んで

後半は、テーブルを囲んで「春のおススメ商品試食会」。この春新登場の白神こだま酵母のパンや磯沼ミルクファームの乳製品、ふるさと両神のこんにゃくなど、生協一押しの品々がテーブルに並びます。参加者には「私のベスト3」として、特に美味しかった3品とその理由をアンケート用紙に記入していただきました。「どれもおいしくて、順位をつけるのが難しいわ」、「あらためて素材の質の高さに気づきました」など、嬉しい声が上がりました。



2/24 橋本会場

なお、「私のベスト3」については、来月号で詳しくお伝えします。お楽しみに♪

理事会(第10回)

日時 3月7日10時より
場所 自然派くらぶ生協会議室
出席 理事13名 監事2名

一、2月の活動報告

春の集い中間報告、日消連主催のワクチン座談会ほか

二、業務報告

- * 1月度決算報告
- * 2月品群別受注概況
- * 2月末までの加入1048人、脱退745人

三、審議事項

- * 商品セットライン設備補修及び備品購入の件
- * 2013年から継続している『福島キッズキャンプ』の今後の支援について意見交換

四、協議事項

- * 2016年度事業方針と総代会提案について

五、報告事項

- * 新ECサイト(ウエブ注文システム)名称について
- * 使用者賠償責任保険加入の件

講演

農の現場から考える
食の安全とTPP

大野和興氏



安全と安定はセット

21世紀は値段をつけてはいけな
ものまで値段をつける時代になっ
てしまいました。TPPは、その最
たるもの。人・モノ・金を聖域なく
世界中にいきわたらせ、命や命をは
ぐくむ環境まで売り買いしようとする
ものです。今後、日本の農業はどう
なっていくのでしょうか。

農業の大規模化がもたらすもの

80年代、家族経営から大規模化に
転換したスウェーデンの例では、大
規模化で一気に農薬使用量が増えま
した。大規模化と農薬はセットに
なっていると言えます。

畜産では牛乳を大量に搾るために、
牛は運動をあまりさせずともらえず、
高力ロリーの餌を与えられる。この
高力ロリーの餌が肉骨粉であり、狂
牛病の原因ともなった。狂牛病の原
因は効率化なのです。このように事
象の裏を見なくてはなりません。

戦時中に制定された「国家総動員
法」では米作りが最優先で、他の作
物を作る農家は非国民扱いされ弾圧
されました。今、国はTPPに向け
た下地作りをすすめています。大規
模農業を推奨し、大量輸出の基盤を
作るうとしています。その結果、国
策とは相反する効率の悪い個人農業
や有機農業者は衰退していくという
構造です。今かつての非常時（戦争
時）と同様なことが起こり得る状況
にあります。

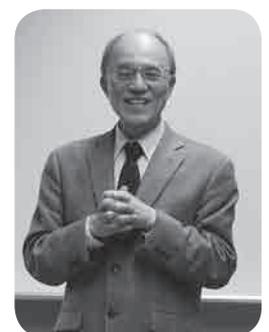
農業はモノの生産だけではありま
せん。手間をかける仕事は力エルや
トンボなど生きものの営みを助けま
す。農業というものは自然と人間の
共同作業なのです。土や水を通して
必ずや都市部の人々の暮らしにも繋
がっていることを忘れてはなりません。
命の根幹をなすものを支える農
業を、経済優先の政策によって歪ん
だものにしてはいけません。

《抜粋》

TPPでどうなる？

私たちの食卓

天笠啓祐氏



進む 食品の規制緩和

グローバル化によって、日本の食
の安全が脅かされています。まず、
食品添加物の問題。2000年以降、
指定添加物（日本国内で使用を許可
された添加物）の数が増え、201
1年からは許可の手続きの簡素化・
迅速化が進んでいます。これはTP
P参加を睨んでの動きであり、食品
を輸入しやすくする流れが既に出
上がっているのです。輸入の添加物
は製造方法が不明瞭、不純物が多い、
遺伝子組み換えがなされているなど
気になる要素が多いのが実情です。

私たちはどうすればよい？

が、遺伝子組み換え技術によって開
発され、アメリカで承認されました。
遺伝子組み換え食品を食べ続けた時
の健康被害は未確認、未知数である
のに、技術はどんどん進歩していま
す。TPP後は日本に輸入されやす
くなり、危険な食品を口にすること
が増えそうです。さらには、添加物・
遺伝子組み換えなどの情報はなるべ
く開示せずに売りたいという諸外国
の思惑も頭に入れておかななくてはな
りません。

「安いから」「便利だから」という
ことに惑わされず、国産の安全なも
のを素材から調理するよう心がけま
しょう。消費者が「いいものを買う、
悪いものは買わない」ということを
続けければ、世の中はずいぶん変わ
っていくものです。三度の食事は世の
中を変えるチャンス。朝・昼・晩と
一日三回も世界を変えるチャンスが
あります。消費者はある意味強い
のです。私たちは「選ぶ権利」を行使
し、貫きましよう！

農産物の輸入においても、日本で
は認められていないTBZなどのポ
ストハーベスト農薬を食品添加物と
言い換えての輸入を認めました。出
荷する直前に果物などに直接塗る農
薬は、皮から浸透し直接口に入るた
め、生育段階で使う農薬以上の健康
被害が心配されます。

新しい情報では、『2倍の早さで
成長する鮭』、『変色しないリンゴ』

《抜粋》



この春、 あなたも 始めてみませんか？



自然派くらぶでは組合員活動や商品企画など生協の運営に協力していただける方を募集しています。ぜひご応募ください。

保育ママ

【目的】

組合員活動や各種講座・講演会の時に、組合員が安心して参加できるよう、お子さんを保育します。

【募集要項】

- ・子ども好きな方。資格不問。
- ・生協に保育ママとしてあらかじめ登録（期間は1年間）。
- ・1回の保育時間は2～3時間。必要に応じて延長の可能性あり。
- ・活動費は1時間 800円。交通費は実費支給。
- ・ご都合の良い時間・場所で活動。保育の必要が生じた場合に、生協から打診して決定。

【主な活動場所】

- ・八王子クリエイトホール（JR八王子駅前）
- ・八王子由井市民センター（JR片倉駅すぐ）
- ・八王子由井事務所（JR・京王片倉駅近く）
- ・立川多摩消費生活センター（JR立川駅南口）
- ・ソレイユさがみ（京王・JR橋本駅前）
- ・ベルブ永山（小田急・京王永山駅前）

★特に依頼が多いのは八王子由井事務所です。月に1度の活動がありますので、お近くの方は是非ご協力ください。

【申込み方法】 今週配布のチラシをご覧ください。

【申込み〆切】 4月29日（金）

今年やってみたら
楽しかったので
来年度もやります！



商品モニター

【目的】

提案された新商品を実際に調理し、味・規格・利便性などを評価します。また、商品やカタログへの意見を出していただきます。

【募集要項】

- ・日時…隔週の水曜日 10:00～14:00
- ・活動費…1回3000円（交通費込み）
- ・期間…2016年6月～2017年4月
- ・募集人数…12名
- ・条件…料理が好きな方、自然派くらぶをよく利用している方
- ・場所…自然派くらぶ生協本部
（八王子市大和田町2-19-20
八王子駅からバスで約10分、石川入口下車）

【一日の流れ】

- 10:00～11:00 概況の説明・その日に扱う商品の案内
- 11:00～12:30 調理・写真撮影
- 12:30～13:30 試食・片づけ
- 13:30～14:00 評価・意見交換

【申込み方法】 お電話でお申込みください。

042-644-1811

【申込み〆切】 5月13日（金）



商品モニターは
美味しくて役に立つ
有意義な活動です！
生協や食の現場に関
するいろいろな情報も
得ることができます！



森田さん 清水さん

商品委員会報告 2月23日(火)
 「自然派くらぶの味噌」でおなじみの
ヤマキ醸造株式会社
 創業百年以上という長い歴史を持つヤマキ醸造。国産有機の
 厳選された材料で、昔ながらの醸造法により味噌や醤油を造り
 続けています。



ヤマキの歴史

ヤマキ醸造株式会社と自然派くらぶ生協とは昭和63年から28年余りのお付き合いになります。この日、商品委員会に来て下さったのは企画・開発シニアマネージャー、森田和彦さんと販売部マネージャー、清水勉さんのお二人。会社の歴史や味噌の製造工程、調理のアドバイスなどをお話しくださいました。

ヤマキ醸造は明治35年、麹屋から始まりました。ヤマキ本社がある埼玉県神川町付近は当時養蚕が盛んで、ヤマキも富岡製糸場の下請け会社で養蚕の仕事をしていました。しかし蚕の活動は春から秋まで。気温が下がる秋口から翌春までは仕事がなくなり、そこで始めたのが麴作り。寒い冬、空気中の雑菌が少なくなり、寒仕込みの麴・味噌を作るには最適でした。「当時は麴販売と共にお客さんが持ち込んだ材料を麴にしてお返しするなんてこともしていました」と、森田さん。時代が伺える話です。「お客様の御用を承る蔵、御用蔵」との別名もあるヤマキ醸造。現在も木樽を使用し、代々受け継がれた昔ながらの手法で、蔵出しの味を守っています。

味噌の変化

ヤマキの工場には仕込みたての味噌から、出荷を待つ熟成されたものまで様々な段階の味噌が寝かせてあります。製品になるまで約一年。成長した味噌は賞味期限を付けられて出荷されます。賞味期限はメーカーが責任をもって美しくいたただける期限をつけているのですが、味噌はその後も変化をしながら熟成していきます。「期限を過ぎたか」と言って捨てないでください。味噌は無駄にならない調味料です」と森田さんは言います。

浅い味噌は色が白く甘みも強い。発酵・熟成が進み旨味が増していくと、甘みが減り色も濃くなります。味噌の発酵に必要なのは酸素、水分、栄養源となる米麴の糖分、大豆のたんぱく質、そして日本の四季の温度が大切なのだそう。じっくりと寝かせて旨味と香りを造りだします。

色の薄いものは白和えなどに、丁度良いものはみそ汁、発酵が進んだ色の濃いものは田楽だれを作るなど工夫して料理を楽しんでみては？と、森田さんの提案です。

世界への発信

最近では外国からの問い合わせも多いようです。昨年は海外のテレビ番組にも出演したとか。見学者も増えていきます。清水さんは何度か海外へ出向き、外国人の味噌の使い方などを見てきました。アレンジが上手でイタリアンやフレンチと味噌に国境はありません。驚いたのはジェラート。隠し味に味噌を使いたいのとお話もあつたそうです。

世界で認められた和食の代表のような味噌。絶滅しそうな家庭の味を、日本人として大切にしたいと、森田さんは語ってくれました。

「自然派くらぶの味噌」を使った味噌汁。浜甚の田舎味だして地元埼玉のネギと豆匠たかちの豆腐を具にした最強コンビ。コクがあつて美味しいホッとした味です。もう一つの試食は野菜スティックに味噌をつけて。甘みは少なめですが、しょっぱさは感じません。塩分11%という事ですが、このままでも十分においしいだけでした。

こんな商品もあります



山野梅干し300g (税込918円)
 梅そのものの味と風味を引き立てた昔ながらの味です。
 5月1回、7月1回 企画予定

**ヤマキ醸造
 特選商品**



豆腐ゆば一本入り (税込513円)
 国産特別栽培大豆と天然の湧水の豆乳で作りました。
 5月3回、6月3回 企画予定

地元生産者の厳選した米、有機特別栽培大豆、国内産100%の材料全てにこだわり、化学合成添加物など全く加えていないヤマキ醸造の味噌。いつでも変わらない味をお届けすることを大切に、これからも企業努力を重ね、守っていききたいことでした。



寄せられた お便り

●いつも配達などありがとうございます。以前、企画されたチラシの玉ねぎの苗ですが寒い中、少しずつ育っています。日が当たり、暖かい場所に植えた苗の方が大きめになっていますようにです！まだ収穫は先ですがとても楽しみです。(武蔵野市 岡部 三香さん)



●1月に近所の生協仲間の友達が亡くなりました。彼女は椅子に座ったままで料理を作り、最後まで頑張りました。近所の方たちへとメッセージカードを残し、物の見事に整理して埋葬先まで決めていました。万一に備えて、私も彼女を見習いたいと思っています。(日野市 稲葉 幸子さん)

●ぼらーの、いつも楽しく読んでいます。今回の「知らないうってコワイ・お肉の発がん性」読みました。ニユースになった時は驚きました。毎回子どもに食べさせているので敏感になりますよね。でもこの記事を読み安心しました。やっぱり自然派くらぶの商品は安心・安全ですね！これからもよろしく願います。先週、息子がインフルエンザになりました。自然派くらぶの商品を使って、体力・免疫力をつけさせたいと思います。(相模原市 太田 聡子さん)

●最近JASマークの野菜が化学肥料や農薬をまったく使っていないので安心して美味しいと聞き、少し高いけど買ってみました。そしたら、北海道産有機玉ねぎがとても美味しくて、切っても涙も出ないし、切りながら食べてみたらとても甘くて水にさらす必要もないので、スライスした玉ねぎに鰹節とお醤油をかけただけで美味しくいただいています。毎週、届くのが楽しみです。もつとJASマークのついた有機栽培の野菜を増やしてほしいです。(多摩市 上原 幸子さん)

●お肉の発がん性に関する記事には他にも多くのお便りをいただきました。センセーショナルな形で伝えられるニユースにも正確な知識で対応できるようにになりたいですね。これからもお役に立てる記事を掲載していきたいと思っています。

●JIMINETで募金させていただきました。毎年、夫と息子に何を買おうか考えるのですが、今年からはJIMINETのチョコレートで決まります。(相模原市 高橋 順子さん)

●ご意見ありがとうございます。商品部の農産担当よりお答えいたします。有機栽培は認証を受けるまでに膨大な書類や条件が多く、簡単に認証が取り辛いのが現状ですが、自然派くらぶでは今後も継続して産地を開発し、有機農産物の取扱いを増やしていく方針です。引き続き買いたい支えをよろしく願います。



ノクシカタ刺繍を体験してみました



(報告：理事 川本京子)

虹の会

募金活動を大きな柱の一つとして活動している虹の会。昨年のネパール大地震の際にも募金を呼びかけ、多くの支援金をシャプラニール(※)に送りました。そのお礼と併せてス タッフの上嶋さんが来てくださり、手工芸品カタログ「クラフトリンク」で見ているノクシカタ刺繍を体験する貴重な機会を持つことができました。

ネパールを襲った2015年4月の大地震、続く5月の地震は、合わせて死者1万人近い被害をもたらしました。伝統的な煉瓦作りの家は見ると影もなく壊れ、現在でもまだその瓦礫の撤去は難航中だそうです。

シャプラニールでは仮設住宅の支援や、地元の人々の大事な情報発信であったコミュニティラジオ局の再建に着手。放送再開だけでなく、ラジオ局の中にコミュニティセン

ターを設け交流の場を作るなどして現在も復興支援を続けています。

もう一つの支援国バングラデシュ(旧東パキスタン)は日本の半分の面積ですが人口密度は日本の3倍という過密状態の国です。朝早く都市部の街を歩けば欧米や日本向けのファストファッションを支える縫製産業に従事する若者達の集団に出くわすそうです。この日は虹の会のメンバーもバングラデシュの伝統刺繍「ノクシカタ」に挑戦させてもらいました。上嶋さんのご指導の下、一針づつ下絵に沿って糸を刺してゆきます。集中力と根気を要する手仕事だけに時々メンバーからはふうつとため息が。作業の大変さを実感しました。思い思いの気持ちを込めながら手仕事おしゃべりを楽しみました。



※シャプラニールはネパール・バングラデシュを中心に活動している国際NGOです。写真中央の男性が上嶋さん。

はじまりました！ 自然派くらぶ「生協サポート」



「生協サポート制度」とは、特技や経験をお持ちの組合員さんに講師とし予め登録していただき、生協の講習会や組合員さんからの希望があった時に活動していただくシステムです。

生協サポーターとして最初の活動は五太子 ^{ごたいし} 真佑味 ^{まゆみ} さん。2月16日(火)に「食と農をつなぐ会」の依頼で講習していただきました。

「お薬のお話」～知ると知らないでは違う薬について～

講師を務めてくれた五太子真佑味さんは薬剤師として5年間総合病院で、3年間を調剤薬局で勤務した経験があります。この日は普段何気なく使用している薬の疑問をわかりやすく教えてくれました。

医療費の現状

日本の医療費は2011年度の約38兆円から年々増加し、今や国民一人当たり30万円を超える計算になります。調剤費も日本を含む欧米6か国で世界の約75%を占め、中でも日本の調剤費は他国に比べて8倍も高いのです。いかに日本人は薬を多く飲んでいいるかわかります。

薬の効果

薬は症状を鎮める対症療法です。胃や腸で吸収され血液によって全身に広がり、代謝されながら体外に排出されます。五太子さんは「薬は体にとつて異物であり、副作用のないものはないと思っています。自身の免疫力をあげて、生活習慣病などを予防しながら、自分に合った大切な薬を少量だけ飲むようにしたいですね」と言います。薬の効果は人それぞれ。百人いれば百通りあるんです、とも。

薬の添加物

カサを増す、苦みを改善するなど様々な理由で薬に含まれる添加物。これらは無害で主成分を妨げないもの、とはなっていますが、せつかく無添加の食品を摂っても、薬をたくさん飲んでいいると残念ながら添加物を摂っていることになってしまふのです。また、薬には使用期限があります。調剤した粉薬は一度空気に触れているため、長くはもちません。目薬も期限が過ぎると品質の低下や雑菌が繁殖している可能性があります。開封後一か月をめどに捨てましょう。

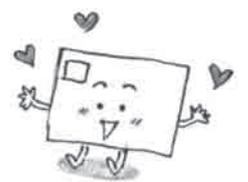
症状によりいくつかの病院で処方された大量の薬。飲み合わせなどの相互作用や服薬量の間違いが起こることもあります。医療事故の3割が薬によるもの。できれば自分にあった「かかりつけ薬局」を見つけて管理してもらおうのが五太子さんのおすすめだそうです。お薬手帳も忘れずに。

「生協サポート」へのお問い合わせは自然派くらぶ生協まで。

※ き り と り せ ん



ぼらーのレター



「ぼらーの」へのご意見・ご感想、ご提案、オススメ料理など、お寄せください。なお、お便りの一部を、ぼらーのに掲載させていただく場合もあります。

Horizontal lines for writing a letter or comment.

クイズの答え

名前

組合員コード (例:123456)

住所

☎ () -

3月の日録

- 1日(火) 春の集い 調布
- 4日(金) 自然派ママくらぶ 世話人会
- 7日(月) 理事会
- 8日(火) 春の集い 八王子
食と農をつなぐ会 畑作業
- 10日(木) 虹の会 仕分け作業
- 11日(金) 自然派ママくらぶ
新規説明会
- 15日(火) 商品委員会
ヒロインターナショナル
- 22日(火) 食と農をつなぐ会
- 25日(金) 自然派ママくらぶ
世話人会
- 29日(火) 食と農をつなぐ会 畑作業

ふるさとに響け



浪江と多摩をつなぐ和太鼓コンサート



昨年、美しい歌声を聴かせてくれた福島と多摩の子どもたちの交流コンサート。今年は福島の浪江小学校と津島小学校の児童を迎え、和太鼓で共演です。

照明が消え、ドドーンと響く太鼓の音。前方に子どもたちが交わしたビデオレターが映し出されました。頑張っている練習している様子を微笑ましく見ていると、続いて流れたのは浪江小と津島小の校歌。それに合わせて歌う児童の声に涙を抑えることができませんでした。



自然派くらぶでは、主催した多摩市の桜ヶ丘商店会連合会に対し、東日本大震災の義援金より、協賛金10万円と子どもたちにお菓子を提供させていただきました。

市で再開した2校の児童は合わせて15人。その15人が故郷に伝わる標葉梅檀太鼓を、前を向いて進もうという強い思いを込めて叩きます。

多摩市の瓜生小学校、東寺方小学校、地元で活動するグループ、和太鼓せいせき鼓隊も、それぞれ素晴らしい演奏を披露してくれました。

最後の演目は、鼓桜の方たちのリードで小学生たちが即興の合同演奏。観客も合いの手で参加して会場が一体となりました。

4月の商品委員会

19日(火) 福永産業

枕崎牛の魅力

傍聴を希望される方は生協にお申込みください。(定員5名)
042-644-1811

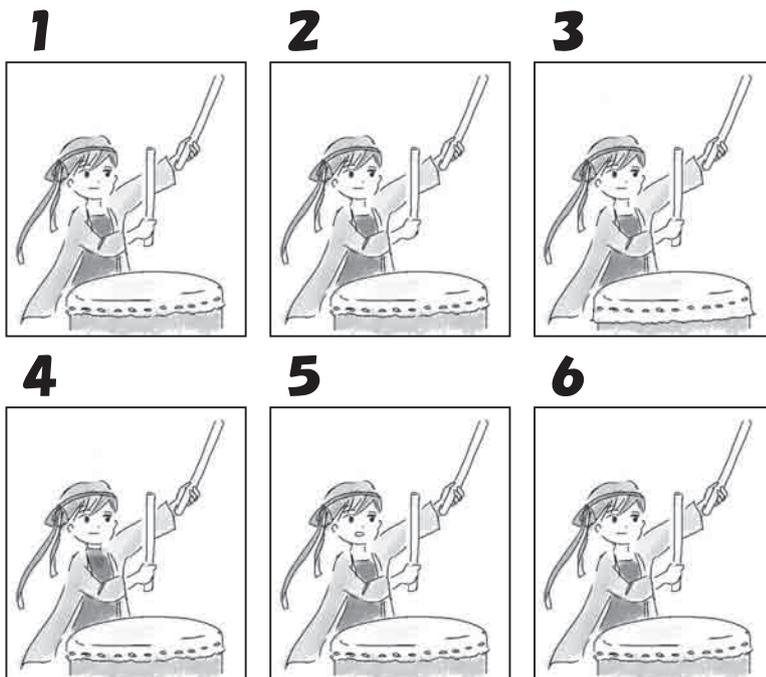
きりとらせん

当選者の発表

応募総数 17通

前回のクイズ「②」
五節句を足すと?
答え 「②」
31

- ● ●
- 稲 菅 鈴
- 葉 生 木
- 幸 裕 須
- 子 香 美
- 様 様 様
- (日野市) (八王子市) (八王子市)



似たような絵が並んでいますが、全く同じ絵は2枚だけ。あとは少しずつ違ったところがあります。全く同じなのはどれとどれでしょう？



応募要領

この裏面(7面下段)にクイズの答えと必要事項を記載の上、注文用紙と一緒に配送便にのせていただくか封書にてご郵送ください。〆切は4月17日(日) 必着

プレゼント

正解者の中から抽選で3名様に商品利用券(500円)。